

本物のフィルムに
触れられるよ!

お話つきで、映画が
もっと楽しくなる。

2019年の夏休み★

こども映画館

KIDS ★ CINEMA

夏休みの思い出に
なるね!

昔の映画も
おもしろいな!

映画の上映とお話 + 映写室訪問

[当日抽選]

スクリーンで観ると
迫力あるね!

7月26日(金) | 27日(土) | 8月2日(金) | 3日(土) 13時30分スタート!
(13時開場)

国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)

料金(当日お支払い)

中学生以下	無料
一般	520円
高校・大学生・シニア(65歳以上)	310円

★「こども映画館」は、中学生以下を対象としたイベントです。こどもの引率・付添ではない高校生以上の方のお申込はお断りしています。

★会場への入場は整理番号順です。開館(11時)と同時に、入場整理券を1階ロビーにて発券いたします。★入場・観覧券の発券は開映の30分前から整理番号順に行います。受付票をご提示の上、観覧券をお求めください。高校生・大学生・シニア(65歳以上)の方は、当日必ず証明できるものをご提示ください。障害者(付添者は原則1名まで)は無料です。証明できるものをご提示ください。★お申込の際にいただきます個人情報(「こども映画館」に関するご案内の目的のみに利用することとし、第三者への提供は行いません。★ご希望の方は、終了後に展示室を無料でご覧いただけます。

参加は事前申込制です[申込フォームのみ]

7月9日[火] 16時より受付開始

申込方法: 国立映画アーカイブホームページ内のこども映画館申込フォームよりお申込みください。受付票の送付をもって申込受付完了となります。各回、定員(150名)に達し次第しめきります。
www.nfaj.go.jp/exhibition/kids-cinema2019
内容についてのお問い合わせ: 電話番号03-3561-0823

国立映画アーカイブ
NF AJ National Film Archive of Japan



みんなで一緒に、大きな スクリーンで映画を観よう!!

※各プログラムの終了時刻は目安です。

7月26日 金
13:30-15:00



『心の力』



『突貫小僧』

活弁と生演奏で 楽しむ日本のコメディ

いつの時代も、おもしろい冒険や愉快ないたずらは大人気。80年以上前の日本でつくられた白黒のアニメーションと喜劇映画でも、かわい動物や腕白なちび子が大活躍。活弁と生演奏でいっしょに楽しもう!

- 『心の力』(1931年)
日本/監督:大藤信郎/18分
- 『居酒屋の一夜』(1936年)
日本/監督:村田守司/11分(無声版)
- 『突貫小僧』(1929年)
日本/監督:小津安二郎/14分(短縮版)
- 『石川五右衛門の法事』(1930年)
日本/監督:斎藤寅次郎/21分(短縮版)

7月27日 土
13:30-15:00



『オランウータンの知恵』



『オランウータンの知恵』

動物たちが 大活躍!

動物たちが知恵を働かせて大活躍する、アニメーションと文化・記録映画の二本立て!

- 『もりのおんがくたい
グリム童話より』(1960年)
日本/監督:神保まさえ/14分
- 『オランウータンの知恵』
(1960年)
日本/監督:藤原智子/39分

『もりのおんがくたい』は、グリム童話が原作の人形アニメーション。ロバ、犬、猫、にわとりが大泥棒を相手に力を合わせて大奮闘! 文化・記録映画『オランウータンの知恵』では、多摩動物園のメスのボルネオオランウータン、「ジブシー」がいろいろなテストに挑戦するよ!

8月2日 金
13:30-15:00



『妖星ゴラス』



『妖星ゴラス』

SF映画で体験する 人類の挑戦

核戦争の危機が高まった時代に作られた“衝突を避ける”SF映画。特撮映画の夢と世界を堪能しよう!

- 『妖星ゴラス』(1962年)
日本/監督:本多猪四郎/88分/カラー
真っ赤に燃える妖星ゴラスは重さも引力も地球の6千倍! そのゴラスが大きくなりながら地球に向かって進んでくる! 地球は木端微塵になってしまうのか?! 世界が英知を結集しこの事態に立ち向かう。

※不完全なプリントが含まれていることがあります。
※映画の上映の順序は変更になることがあります。
※8月3日の作品は英語字幕ですが、弁士の説明でお楽しみいただけます。

8月3日 土
13:30-15:00



『キートンの蒸気船』



『キートンの蒸気船』

活弁と生演奏で楽しむ アクション・コメディ

アメリカの喜劇俳優バスター・キートンの体を張ったアクションが見もののコメディ作品。約90年前につくられたサイレント映画を、活弁とピアノの生演奏で楽しもう!

- 『キートンの蒸気船』(1928年)
アメリカ/監督:チャールズ・F・ライスター/71分
ミシシッピ川の蒸気船の船長ビルと、大実業家キングは商売敵。けれどビルの息子ウィリーと、キングの娘キティはおたがいに惹かれあっている。ある日、嵐が街をおそい、建物とはばされ船は流され、ウィリーはみんなを助けようと大活躍!

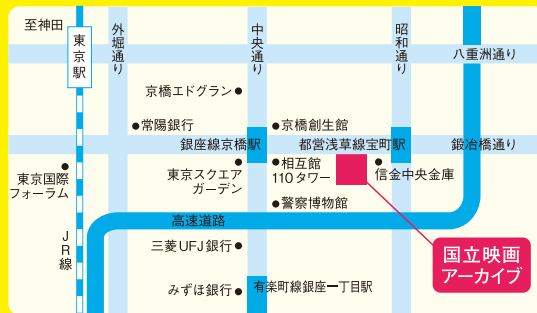
**7月26日、8月3日は活弁・演奏
付きで映画が観られるよ**

出演:山崎パニラ

2001年、活動写真弁士としてデビュー。独特の声と、大正琴とピアノを弾き語る独自の芸風を確立。声優としてもアニメ「ポチっと発明ピカちゃんキット」ポチロー役、「ドラえもん」ジャイ子役、「妖怪ウォッチ」ケン役など数々の作品に出演。



「活弁とは? : 無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人气が左右されるほど大切な役割を担っていました。」



国立映画アーカイブ

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
交通: ●東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
●都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
●東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
●JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分
お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFAJホームページ: www.nfaj.go.jp

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「こども映画館」は、中学生以下を対象とした国立映画アーカイブのイベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

- ★映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。
 - ★テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。
 - ★優れた映画作品の鑑賞を通して、豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。
- 映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する——かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日のこどもたちにも味わってもらいたいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。